

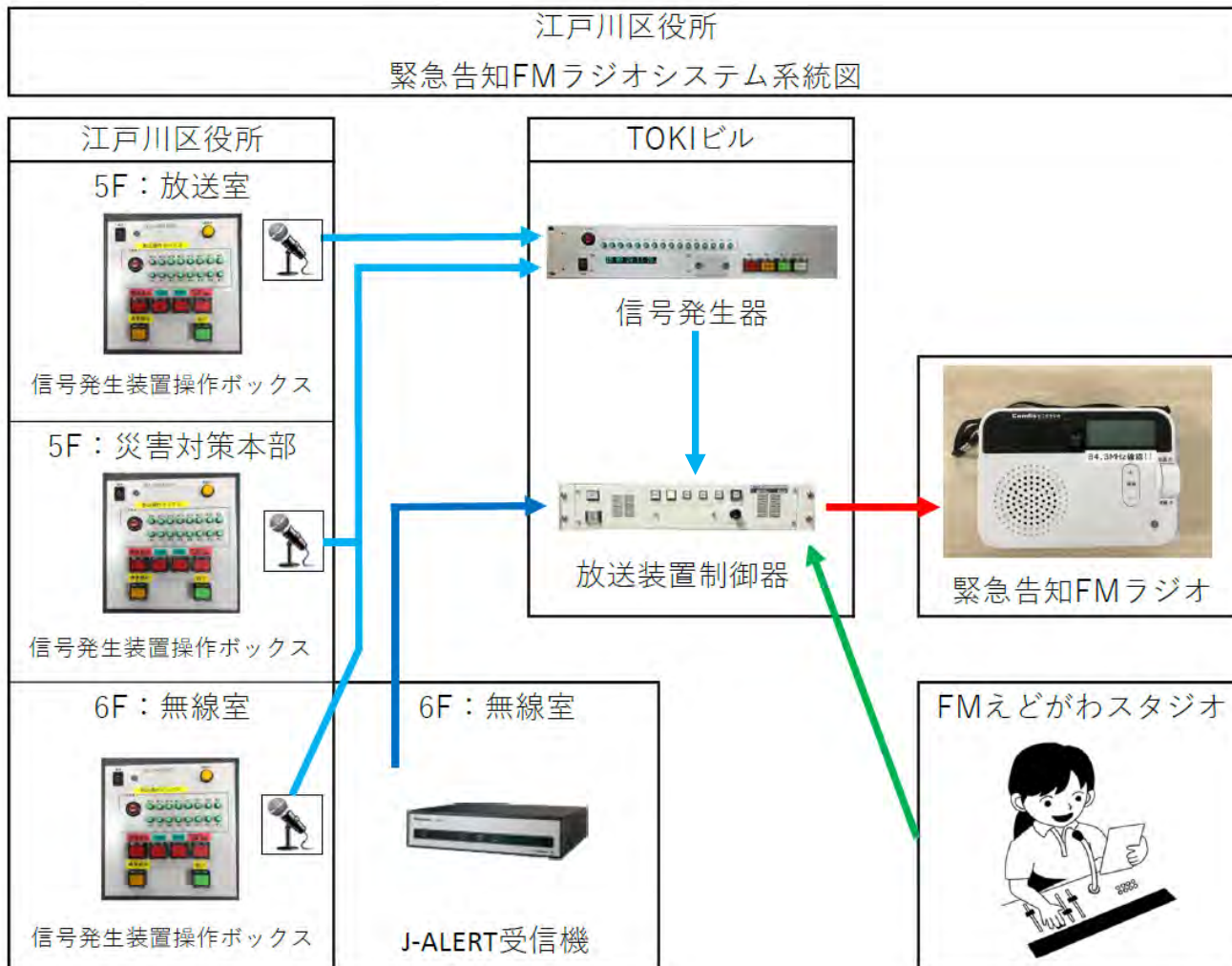
コミュニティ放送局(FMえどがわ) 割込システム概要及び 割込放送について

令和6年3月
江戸川区役所
危機管理部

FMえどがわ割込システム

緊急時の迅速な情報伝達の為、平成24年度よりFMえどがわに緊急割込放送を実施している。

区施設おいての緊急時に自動起動する緊急告知FMラジオ端末設置に伴い、緊急起動信号発信を有した割込システムに改修を実施(平成28、29年度)



緊急告知FMラジオ

緊急時の迅速な情報伝達の為、平成29年度に緊急時に自動起動する緊急告知FMラジオ端末を設置。

J-ALERTや防災行政無線による自動連携により、緊急情報を放送する。

避難所となる小中学校や区施設等253施設646台を配備。

※ラジオメーカー:ワキヤ技研株式会社

※緊急起動方式:Comfis(コムフィス)方式

一般型



戸別設置用(ComfisR2)
設置箇所: 保育園、コミュニティ
会館、健康サポートセン
ター、共育プラザ等の
小規模施設

拡張型

旧型



館内放送接続用(EWN-50)
設置箇所: 小中学校、事務所等の館内放送設備を有する
施設

新型(令和4年度から使用)



FMえどがわ割込放送訓練

割込放送は江戸川区と株式会社エフエム江戸川との協定に基づき行われている。

協定の中には以下の3種類の放送が規定されている。

- ・緊急割り込み放送 ……災害時の避難指示等
- ・全国瞬時警報システムによる緊急自動放送 …… J-ALERT
- ・平常時の放送 ……定時放送等

株式会社エフエム江戸川とは協定だけでなく、番組作成委託の契約も令和5年度から行っており、防災情報の発信手段の多重化を目的に、FM放送の発信の拡大に取り組んでいく。

災害が起きた際の避難や生活の支援が必要な高齢者や障害者など災害用配慮者の支援を強化するため、情報発信の充実に努めていく。

緊急告知FMラジオ

・定時放送

- 1 目的 FMえどがわの割込放送装置の操作習熟と区民への防災意識の向上を図る
- 2 放送日時 毎月第2、第4木曜日に放送(1回2分)
- 3 役割分担 割込装置操作担当とアナウンス担当の2名1組として、危機管理部と広報課職員でローテーション
- 4 放送内容 自助共助の視点による防災・災害への意識啓発
全10回構成(家具転倒の防止、備蓄、避難の準備・仕方等)

